# 公立幼稚園及び公立保育所再編整備実施計画【第1期修正】

平成 28(2016)年7月に策定した「公立幼稚園及び公立保育所の再編整備に関する基本計画」を基に市の 状況や様々な要素を総合的に考慮して具体的な検討を続けた結果として、平成 29(2017)年 11 月に「再編 整備実施計画【第1期】」を策定し、柏原地区での認定こども園の開園に向けた取組を進めていますが、 依然として公立幼稚園の小規模化は進行しており、教育上望ましい集団活動が実施できる環境を確保する ために「玉手幼稚園」と「円明保育所」の統合による新たな認定こども園を計画いたします。

第1期計画と同時期の開園を目指すことになるため、第1期計画を修正するものとして、以下のとおり、 再編整備実施計画【第1期修正】を策定いたします。

# 1. 公立幼稚園と公立保育所の今後の再編スケジュール

地区	施設名	令和元年度 (2019)	令和 2 年度 (2020)	令和3年度 (2021)	時期未定 (令和4年度以降)
柏原地区	柏原保育所		dimininini	開 (仮称)かしわら認定こども園	
	柏原西幼稚園			園	
	柏原西保育所				<b>N8を目処にあり方検討</b>
国分地区	国分幼稚園				開
	国分保育所				遠
	玉手幼稚園			開 (仮称)たまて認定こども園	
	円明保育所			園	
堅下地区	堅下幼稚園				開
	堅下保育所				遠
堅上地区	堅上幼稚園				あり方検討を継続

#### 【柏原地区】-

令和3(2021)年4月の開園に向けて「柏原西幼稚園」と「柏原保育所」の統合による「(仮称)かしわら認定こども園」の整備を進めています。

「柏原西保育所」は、(仮称)かしわら認定こども園の開園後、5年を目処にそのあり方について検討を続けます。

### 【国分地区】-

目標年度を令和3(2021)年度以降として検討を続けるとしていた「玉手幼稚園」と「円明保育所」との統合について、「玉手幼稚園」の小規模化などの理由から、現「円明保育所」の園舎を活用して「(仮称)たまて認定こども園」を令和3(2021)年4月に開設します。

なお、「国分幼稚園」と「国分保育所」の統合による認定こども園については、令和4(2022)年度 以降の開園を目標として検討を続けます。

#### 【堅下地区、堅上地区】

堅下地区と堅上地区については、上表のとおり、変更はありません。

# 2. (仮称) たまて認定こども園について

令和3年度に開設を目指す「(仮称)たまて認定こども園」の開設予定地、再編に向けたスケジュールは以下のとおりです。

### (1) 開設場所について



#### ① 玉手幼稚園入園申込み状況

令和 2 (2020)年度の入園申込みにおいて、「柏原市立幼稚園の運営方針」による休級の判断基準である「1 学級 15 名」を下回り、玉手幼稚園の 4 歳児クラスは休級を検討することになりました。玉手幼稚園を休級にすると、玉手・円明地区には他に幼稚園がなく、保育所は円明保育所のみであるため、教育ニーズを満たせなくなる恐れがあります。

#### 【令和2年度の園児数(予定)】

	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合計
玉手幼稚園		9	9	18

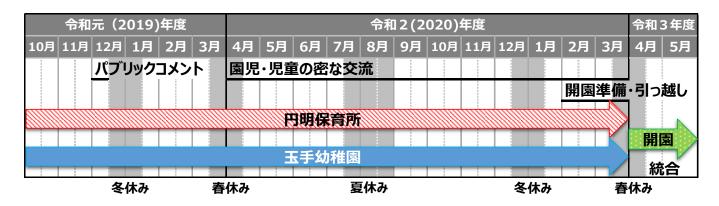
#### ② 開設場所

地区の教育ニーズに対応しながら教育上望ましい集団活動が実施できる環境を至急確保するには、既存施設を活用しつつ、基準を満たすことのできる施設で幼稚園としての役割を担える認定こども園を開設する必要があります。

玉手幼稚園・円明保育所でそれぞれ検討したところ、基準を満たすことのできる円明保育所において、令和3(2021)年4月から「(仮称)たまて認定こども園」を開設することとしました。

### (2) 開設に向けたスケジュール

今後は、環境改善のための施設改修や保護者との協議など統合によって必要となる事項を検討し、必要に応じて実施していきたいと考えています。



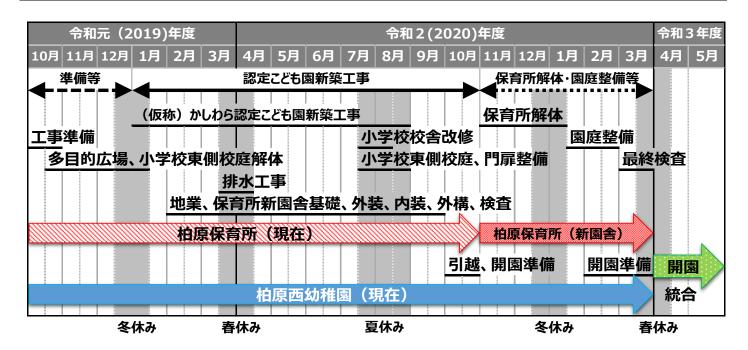
# 3. (仮称) かしわら認定こども園について

「(仮称)かしわら認定こども園」は、構想・設計後に保護者・住民向けの工事説明会を開催し、令和元(2019)年9月30日から令和3(2021)年3月26日までを工期として整備工事を開始しました。

新園舎完成後の令和 2 (2020)年 11 月頃に柏原保育所の引っ越しを行い、現園舎の解体・園庭等整備後、令和 3(2021)年 4 月の開園を予定しています。

構造・規模: 鉄骨造 地上4階建 敷 地 面 積: 1579.78 ㎡ 建 築 面 積: 479.61 ㎡ 延 床 面 積: 1247.94 ㎡

設計: 株式会社山田綜合設計 施工: 株式会社三栄建設



# 4. 柏原市が目指す教育・保育と今後の展望

### (1) 柏原市が目指す教育・保育と子育て支援

柏原市が今後整備していく認定こども園、既存の幼稚園や保育所では、以下を理念として教育・保育の提供及び子育て支援を実施していきます。

- ◆ 就学前の子どもの成長と発達に応じた教育・保育を一体的に行い、生涯にわたる 人格形成の基礎を培う。
- ◆ 子ども一人ひとりが、健やかに育つ環境を作る。
- ◆ 子育てに夢が持て、子どもが大切にされる環境を作る。

再編整備する認定こども園での具体的な運営内容等を含め、就学前児童のための幼稚園や保育所を 運営していく上で取り組まなければならない事項を幼稚園教諭や保育士が中心となった柏原市教育・ 保育カリキュラム研究会等で研究・検討を続けています。

#### (2) 認定こども園への移行について

本計画【第1期修正】において再編が決定した施設以外については、再編に関して具体的な時期や場所等全て未定ですが、基本計画にあるとおり、「再編」を決定事項として今後も検討を続けていきます。

いずれの施設においても、再編の目処やある程度の予定が出来上がり次第、説明会等を開催し、基本計画での留意点等を踏まえ、柏原市の抱える課題を解決するために保護者や地域住民等の合意を得ながら再編を進めていきたいと考えています。

## 5. FAQ

(仮称)かしわら認定こども園や(仮称)たまて認定こども園、その他認定こども園に関する FAQ(よくあるご質問とその回答)は、市ウェブサイトでもご確認いただけます。

本計画【第1期修正】では、(仮称)たまて認定こども園に関する FAO の一部を掲載しております。

#### <柏原市ウェブサイト>

二次元コードから「認定こども園に関する情報」をご確認いただけます。 http://www.city.kashiwara.osaka.jp/docs/2017112400015/



- ② 認定こども園となって施設の建替えはしないの?
- ⚠ 現在のところ、建替え等の予定はありませんが、新園舎候補地の選定、今後想定される施設の改修費用などを総合的に考慮しながら検討を進めていきたいと考えています。
- なぜ玉手幼稚園での認定こども園化はできないの?
- △ 幼保連携型認定こども園に関する施設・設備等の基準があり、玉手幼稚園では、例えば調理室がない、部屋数が足りないなどの理由により基準を満たせないため認定こども園化はできません。
- ② 令和3年度の年長児(5歳児)のみ環境を変えることなく玉手幼稚園に通うことはできないの? 幼稚園児の小規模化によって手厚い保育になるなどのメリットもあると思うが。
- △ 教育上望ましい集団活動が実施できる環境として教育委員会が定めた「1学級 15名」という基準があり、公立幼稚園は小規模での運営を想定していたものではなく、結果的に少人数になっているというのが現状です。そのため、現在の予定では、円明保育所が認定こども園になる令和3年4月をもって玉手幼稚園は廃園とする予定です。
- Q 円明保育所は園庭が狭いと思うが、運動会などは開催できるのか?
- **A** 現在でも検討課題ではありますが、定員が増えることにより、近隣施設に余裕があればご協力いただき代替地として活用するなど検討を続けていきたいと考えています。
- Q (仮称)たまて認定こども園での0歳児保育や1号認定の3年保育の予定は?
- A 現在のところ、2・3 号認定については、円明保育所と同内容での保育(1 歳半~)を想定しています。1 号認定の3年保育については、今後の保育ニーズと認定こども園の収容能力を踏まえ、検討を進めます。

(お問い合わせ)柏原市こども政策課 公:072-943-4811 FAX:072-973-3782

☑: kodomoseisaku@city.kashiwara.lg.jp